

～世界リーディング・ユニバーシティに向けて～

東北大学は、1907年（明治40年）の建学以来、「研究第一」、「門戸開放」、「実学尊重」の理念を掲げ、世界最高水準の研究・教育を創造してきました。また、研究の成果を社会が直面する諸問題の解決に役立て、指導的人材を育成することによって、平和で公正な人類社会の実現に貢献してきました。その歴史は、東北大学に関わる人々のためめ挑戦を通して築き上げられてきたものです。



いま、人類社会は地球規模で克服すべき様々な複雑かつ困難な課題に直面しています。東北大学は100年という歴史の中で継承してきた知の蓄積と、絶えざる研究・教育の創造を通して、前途に横たわる諸課題に堂々と立ち向かう先導力となり、人類社会の発展に貢献する「世界リーディング・ユニバーシティ」になる決意をしています。

こうした決意をもってこれからの東北大学について考えると、「Challenge（挑戦）」、「Creation（創造）」、「Innovation（革新）」という3つのキーワードを基軸に行動することが重要と考えます。そして核となるのは、これからの人類社会の形成に向けた卓越性の追求をもって取り組む「挑戦」の精神です。

東北大学は「知の継承体」として、不撓不屈な挑戦の精神を持つ人材を数多く輩出し、更には国際社会で指導的な役割を果たす人材を各方面に送り出すことによって、人類社会に対する貢献を果たしていきます。

また、東北大学は「知の創造体」として、挑戦の精神をエネルギーに世界最高水準の知を「創造」し、その知を実際に活用することによって、人類社会に対する貢献を果たしていきます。特に、人類社会の重要課題である地球環境問題、エネルギー問題、食糧問題、生命・福祉問題などを解決する「革新」を求めて、横断的学際化（Transdiscipline）を重視した融合領域分野における研究に挑戦していきます。

そして、東北大学は内外に開かれた「知の経営体」として、目標達成のための戦略を立て、学内外の様々な英知を結集して努力していくことにより、本学が培った実力を如何なく発揮し、世界最高水準の研究中心大学として輝かしい前途を切り拓いていきます。

このような「世界リーディング・ユニバーシティ」を目指した戦略実行プランとして、東北大学は2007年3月に「井上プラン2007」を策定し、教育、研究、社会貢献、キャンパス環境、組織・経営という5つの柱ごとにアクションプランをとりまとめました。

その公表から2年。この間のプランへの取組により本学は着実に進化を果たしています。一例を挙げると、教育面においては、海外インターンシップ制度の積極的導入を含めて、東北大学独自の新たな教養教育カリキュラムの構築とそのための実施体制の整備を進めています。

研究面においては、卓越した知識と創造的総合知を備えた、21世紀の学術をリードする研究者を育成する「国際高等研究教育機構」を創設しました。また、世界トップレベル国際研究拠点形成促進プログラムに採択され、「原子分子材料科学高等研究機構」を発足させました。

さらに、APRU、T.I.M.E.への加盟を通じた国際的プレゼンスの向上、産学連携事業等を通じた新実業の創出の先導、世界に開かれた国際水準キャンパスの整備、国際競争力を支える人事システムの構築、東北大学基金の創設など、オリジナリティに溢れた取組を進めています。このような取組は、本学ならではのことと誇りを感じており、本学の教職員、学生、そして同窓生が相互に切磋琢磨をして一体となってその力を発揮していることの表れと自負しています。

“2009年”一大学を取り巻く変化とスピードがますます加速する時代の中で、社会から知の拠点として人類社会への貢献を委託されている私たちは、堅忍不拔な努力と真摯な研鑽によって絶えず新たな研究・教育を創造し、今まで以上にスピーディーに行動・変革を起こす必要があります。

これからの東北大学が果たすべき使命及び活動を皆様にご理解いただくとともに、多くの方々と共に挑戦していくことにより、社会から信頼、尊敬、そして愛情を受けられる大学として人類社会の発展に貢献して参る所存です。

2009年6月

東北大学総長 井上 明 久